

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	環境保全一般事業(生活環境課)			事業コード	520121						
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち		政策目標	3 自然と共生する地域空間の形成						
	施策名	1 豊かな自然環境の保全と活用		施策コード	222						
事業担当	所属	05050000 市民総務部 生活環境課		所属長	四方 幸生						
会計情報	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	05 環境保全費	会計	01 一般会計	決算付属資料	152	頁
計画期間	開始年度	平成16年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	環境基本法、公害紛争処理法、騒音規制法、悪臭防止法、水質汚濁防止法、福知山市附属機関設置条例										
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	市民、事業者の環境意識を高めて、環境保全の進んだまちとする。 環境公害発生時には、その対策を行い、市民の公害に対する不安を解消する。										
対象者	全市民			対象者数	76,377		単位あたりコスト	0.1			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	(一社)京都微生物研究所・ダイワエンジニアリング(株)播磨分析センター・(株)新洲										
事業概要 (箇条書き)	環境パーク施設見学、環境問題出張講座、その他啓発活動を行い、市民・事業者の環境保全意識を高める。 公害苦情発生時に現地調査、発生源への指導等の苦情処理を行う。 事業所の公害発生施設設置届出に関して、法令に基づき指導、受理する。 市内で大気汚染、水質汚濁、悪臭公害が懸念される地域において環境測定を行い、状況を監視する。 騒音規制法第18条に基づき、市内幹線道路の代表的な地点の騒音測定を行い、道路を走行する自動車の運行に伴い発生する騒音に対して道路に面する地域の騒音暴露状況を把握する。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	報償費	100	委員謝礼(環境保全委員会)								
	旅費	30	研修・普通旅費								
	需用費	32	消耗品費								
	委託料	920	環境測定委託								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,707	3,085	2,080	予算編成時記入 (3次公表時)				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	1,707	3,085	2,080						
予算財源内訳	① 一般財源	1,707	3,085	2,080					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	1,707	3,085						
	③ 執行額	1,230	1,082						
	④ 執行率	72.1%	35.1%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	1.30 / 0.00	0.60 / 0.00	0.60 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	10,400	4,800	4,800	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	11,630	5,882	4,800	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	環境調査の基準値以内割合	%			100 / 100	100 / 100	/ 100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	環境調査	件	/	4 / 4	4 / 4	/ 4	4
		単位あたりコスト	/	307.5	270.5	/	
		単位あたりコスト	/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 公害苦情処理は、法令に基づき行政で実施する必要がある。公害に苦しむ市民の要求に応えるものであり、優先度は高い。市民への啓発も必要である。 環境測定は、環境公害について以前より懸案となっている地域において、実施するものであり、市民ニーズに応えるものである。騒音については、国の法定受託事務である。 公害苦情処理、環境測定を実施 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 環境保全の啓発資材や環境対策関連会議の旅費など最低限必要な経費のみである。啓発活動は、費用のかからない施設の利用などコスト削減に取り組んでいる。 環境測定には国家資格や高価な測定機器が必要であり、業者委託が最も効率がよい。 委託価格も、市販の積算図書の価格以下であり、妥当な価格である。 環境測定を業者に発注 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 環境測定成果目標は、過去の実績から設定した目標である。 環境測定は、測定時期、場所などは、地元希望も聞きながら行っている。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 公害から生活環境を守ることは、行政としての責務であり、継続して取り組まなければならないが、市民・事業者側の環境保全に対する意識も重要であり、市民一人ひとりの実践も重要であるため、引き続き環境保全への取り組みを強めていく必要がある。ただ、取り組みの結果については、どれだけの成果があったかについての判断が難しい部分もあるが、公害苦情については、法令違反を明確に確認できない事例が多くあり、強い行政指導ができず、事業者努力を促す継続案件となり、根本的な解決に及んでいないケースが増えていることが課題である。 ※令和3年度の機構改革に伴い、活動指標・活動目標を変更した。 		
改善策	課題事例に対して、原因者、市民双方の理解を得られるよう、関係機関と連携し、環境問題の苦情の解消に努める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入 (3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	森林経営管理事業			事業コード	210104							
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生き、次世代についでいくまち			政策目標	3 自然と共生する地域空間の形成						
	施策名	1 豊かな自然環境の保全と活用			施策コード	231						
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課			所属長	藤澤 稔						
会計情報	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	170	頁
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	森林経営管理法											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	森林の適正な経営や管理が行われないと、土砂災害の防止や水源涵養等へ影響を及ぼすことが懸念されるため、「森林経営管理法」が施行され、森林の適正な経営や管理を行わなければならないこととなっている。 このため、森林の経営管理に係る意向調査等を実施し、適正な経営や管理が行われていない森林整備の促進を図る。											
対象者	森林所有者(観音寺、室・市寺、河守・河西)			対象者数	660			単位あたりコスト	101.0			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	アジア航測株式会社											
事業概要 (箇条書き)	◇森林経営管理法による経営管理権集積計画の作成(観音寺地区) ◇経営管理実施権を設定する民間事業者の選定(観音寺地区) ◇森林航空レーザ測量データ及び公図等を活用した森林境界明確化の実施(室・市寺地区) ◇境界明確化を目的とした森林航空レーザ測量及び森林資源解析の実施(河守・河西地区) ◇市内の森林資源情報の整理及び見える化を実施											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	報酬、職員手当等	1,226	臨時職員に係る報酬、職員手当									
	旅費、需用費、役員費、負担金補助及び交付金	68	先進地視察に係る旅費、研修負担金、消耗品等の購入、事業に係る文書の郵送									
	委託料	19,033	森林航空レーザ測量及び森林資源解析業務、森林境界明確化業務、市内の森林情報の見える化業務									
	使用料及び賃借料	67	複写機使用料									
	積立金	41,495	森林環境譲与税基金積立金									

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	45,406	53,768	113,322	予算編成時記入 (3次公表時)				
	② 補正予算	0	9,116	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	45,406	62,884	113,322						
予算財源内訳	① 一般財源	35,059	62,884	59,509					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	10,347	0	53,813					
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	45,406	62,884						
	③ 執行額	42,125	61,890						
	④ 執行率	92.8%	98.4%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.72 / 0.00	0.60 / 0.00	0.60 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	5,760	4,800	4,800	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	47,885	66,690	4,800	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	森林整備面積(市全体)	ha	266 / 565	181 / 587	集計中 / 587	/	587
林産物(素材)の生産額	百万円	310 /	622 /	集計中 /	/ 350	430	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	森林経営管理権設定地区	箇所	0 / 1	1 / 1	0 / 2	/ 2	31
	単位あたりコスト		/	42125.0	/	/	
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	森林経営管理法に基づき森林の適正な経営や管理を進めるため、市が実施すべきものである。 令和3年度については、主に森林の境界明確化意向調査を円滑に進めるため、レーザ測量及び森林資源解析を実施した。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	財源として、国から譲与される森林環境譲与税を充当し事業を実施している。事業内容においては、見積徴収や国の単価参考資料と比較することにより、コスト削減を実施している。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	森林経営管理権を設定することで、手入れされていない森林を、市又は林業事業者が管理することになるため、市全体の森林整備面積の増加に寄与すると考えられる。 令和3年度については、森林経営管理権を設定した箇所(観音寺地内)において、林業事業者の施業に関する提案募集を行い、事業者の選定が完了した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	(自己評価) ◇令和元年度から取り組んできた観音寺地区において、経営管理実施権の設定を行う民間事業者を選定することができた。 ◇室・市寺地区において、森林航空レーザ測量のデータに加え、旧公図や地元所有資料を活用した境界明確化を行うことで、今後の境界明確化業務の進め方を見出すことができた。 ◇森林航空レーザ測量及び森林資源解析を行うことで、新たに河守・河西地区の森林資源情報を取得することができた。 (課題) ◇令和元年度から全国で始まった制度で先進事例が少なく、取組みを進めることで見えてくる課題が多い。 ◇市の取組範囲が拡大する中で、森林所有者の探索及び森林の境界明確化の効率的な進め方を確立する必要がある。		
改善策	◇令和4年度から一般財団法人京都森林経営管理サポートセンターが中丹地域の本事業担当者を集め、月に1度会議が開催される予定であるため、積極的に参加し、他市との課題の共有を行う。 ◇令和4年度に発注する「境界明確化業務」においてプロポーザル方式を実施し、単年度で広い面積(1,000ha以上)の境界明確化を効率的に進めるため、事業者の提案を募集したうえで業務発注を行う。 ◇今後は、森林航空レーザ測量及び森林資源解析の結果を活用し、上記のプロポーザル方式で採用する森林境界明確化を行った上で、経営管理意向調査を実施していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	福知山千年の森づくり事業			事業コード	220401						
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生き、次世代についでいくまち		政策目標	3 自然と共生する地域空間の形成						
	施策名	1 豊かな自然環境の保全と活用		施策コード	231						
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課		所属長	藤澤 稔						
会計情報	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	174	頁
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和20年度	関連計画名	福知山千年の森づくり基本計画		R4現在の状況	継続中		
根拠法令等											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	「福知山千年の森づくり基本計画」に基づき、新たな計画では、自然・歴史・伝説など様々な地域資源の魅力を発信することで誘客を図り、国定公園の価値の再発見・再定義を通じた関係人口を創出することで、自然環境の保全と地域振興へとつながり、また誘客へとつながる好循環の創出を目指し、「オンリーワン」の森林公園づくりを行う。										
対象者	国定公園来訪者数	対象者数	73,000	単位あたりコスト	0.2						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	株式会社地域計画建築研究所										
事業概要 (箇条書き)	◇関係者に参加いただいた意見交換会(全5回)を実施し、意見を踏まえたうえで「福知山千年の森づくり基本計画」を次のステージに進めるために改定した。 ◇令和4年度に実施予定である「大江山トレイルラン教室」の実施計画を作成した。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	報償費	272	福知山千年の森づくり基本計画改定に係る意見交換会員報償								
	需用費	121	福知山千年の森づくり基本計画書概要版印刷								
	委託料	7,755	福知山千年の森づくり基本計画改定業務、トレイルラン教室実施計画作成業務								
	使用料及び賃借料	2	福知山千年の森づくり基本計画改定に係る意見交換会会場使用料								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	2,826	9,183	7,260	予算編成時記入 (3次公表時)			
	② 補正予算	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0				
小計(①～③)	2,826	9,183	7,260					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0				
	③ 府支出金	2,826	2,750	7,260				
	④ 地方債	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	6,433	0				
決算情報	① 流充用額	△ 2,083	0					
	② 配当予算	743	9,183					
	③ 執行額	1	8,150					
	④ 執行率	0.1%	88.8%					
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.23 / 0.00	0.50 / 0.00	0.50 / 0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	1,840	4,000	4,000	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,841	12,150	4,000	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	福知山千年の森づくり事業(豊かな森育てる府民税市町村交付金)	種類	農林業費府補助金	実績金額	3,341	28	頁
		豊かな森を育てる基金繰入金		基金繰入金		4,809	40	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
		国定公園への来訪者数	人	123000 / 257000	114000 / 257000	73000 / 257000	/ -
	自然環境の保全・活用事業の参加者数	人	/ -	859 / -	803 / -	/ 970	1240
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	千年の森づくり活動参加者数	人	292 / 133	23 / 146	52 / 146	/ 146	146
	単位あたりコスト		0.9		156.7		
	イベント(#千年の森)の参加者数	人	- /	- /	- /	/ 50	200
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	国定公園に指定されたエリアを「福知山千年の森づくり事業エリア」と位置づけ、市民と一緒に森づくりを進めるものであり、様々な取り組みを集約化し、今後の取り組み方法を定めることは、民間事業者や市民は実施できないものである。令和3年度については、意見交換会を実施するなど様々な意見を取り入れ、これまでの計画の実績や昨今の環境・経済・社会の変化等を鑑み、平成20年度に策定した福知山千年の森づくり基本計画を改定した。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	計画改定業務を発注する際は、「公募型プロポーザル方式」を採用し、より効率的な提案のあった業者を選定した。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	他の自治体でも計画作成の実績を持つ業者により、先進事例の分析や聞き取り調査等も十分に行った上で、福知山千年の森づくり基本計画の改定及び大江山トレイルラン教室実施計画の作成を行った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	(自己評価) ◇基本計画が策定されて10年以上が経過し、社会情勢の変化等があり、目的達成に向けて計画の見直しが必要であった。 ◇まず、次のステージに進めるための計画改定を実施することが出来た。 ◇今後、時代に合った施策の検討、持続的な事業展開を行うための推進体制の確立を行い、目的達成を目指したい。 (課題) ◇計画エリアにおける間伐等の森林整備には至っていない。 ◇観光に来た方が森林に関わるきっかけが提供されていない。 ◇地域全体の魅力についての発信やSNS等新たな媒体を活用について、進展していない。		
改善策	◇森林は人が関わらなければ維持することが出来ず、地域の方の力だけでは支え切れないため、地域外の人も含めた多様な主体を巻き込む事業展開を行っていく。 ◇まずは、子ども向けに森林との関わりを強調した取り組みを展開し、次世代の担い手づくりにつなげるとともに親子で参加できる場を醸成する。 ◇本事業の取り組みを「#千年の森」と一体的に発信し、地域全体の発信に寄与することとする。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	環境基本計画推進事業			事業コード	520113						
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生き、次世代につないでいくまち		政策目標	3 自然と共生する地域空間の形成						
	施策名	1 豊かな自然環境の保全と活用			施策コード	231					
事業担当	所属	25080000 産業政策部 エネルギー・環境戦略課		所属長	谷口 智広						
会計情報	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	05 環境保全費	会計	01 一般会計	決算付属資料	152	頁
計画期間	開始年度	平成16年度	終了予定年度	令和4年度	関連計画名	第2期福知山市環境基本計画		R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	環境基本法										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	福知山市環境基本計画(中間見直し)策定事業※令和2年度のみ										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	市民一人ひとりが環境問題を身近に捉え、再生可能エネルギーの普及を通して、温室効果ガスの排出削減に取り組むための指針を示すとともに、環境問題や自然との共生を自分事として捉える機運の醸成を図り、次世代に誇れる環境に配慮したまちづくりの実現をめざす。										
対象者	全市民			対象者数	76,377		単位あたりコスト	0.0			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	福知山環境会議										
事業概要 (箇条書き)	・地球温暖化対策実行計画(区域施策編)を包含した新たな環境基本計画「(仮称)福知山市エネルギー・環境基本計画」の策定 ・福知山環境会議と協働した第2期福知山市環境基本計画に掲げるリーディングプロジェクトの実施 (主要プロジェクト)みどりのカーテン実施率日本一/由良川・里山/生きもの調査/サケの飼育と採捕・放流/ごみの減量と生ごみの堆肥化による資源の有効利用 ・福知山市附属機関設置条例に定める福知山市環境審議会の運営 ※令和4年度から環境保全一般事業(エネルギー・環境戦略課)を統合										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容							
	負担金補助及び交付金	588		環境基本計画推進事業交付金							

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	588	588	15,908	予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0	0	0						
	③ 繰越予算	0	0	0						
	前年度繰越	0	0	0						
	次年度繰越	0	0	0						
小計(①～③)	588	588	15,908							
予算財源内訳	① 一般財源	294	331	614						
	② 国支出金	0	0	15,000						
	③ 府支出金	294	257	294						
	④ 地方債	0	0	0						
	⑤ その他特財	0	0	0						
決算情報	① 流充用額	31	0							
	② 配当予算	619	588							
	③ 執行額	619	588							
	④ 執行率	100.0%	100.0%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	1.11 / 0.10	0.37 / 0.00	0.37 / 0.00	0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	9,130	2,960	2,960	0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	9,749	3,548	2,960	0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	環境基本計画推進事業(きょうと地域連携交付金)		種類	衛生費府補助金	実績金額	257	決算付属資料	26	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	プロジェクト活動参加人数	人	2,971 / 3,100	1,091 / 3,200	866 / 3,300	/ 1,000	1,000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	プロジェクト活動実施回数	回	111 / 100	94 / 100	40 / 100	/ 50	50
	単位あたりコスト		5.6	6.6	14.7		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 環境保全にかかる啓発活動の中心となる事業で、目的達成に不可欠な事業である。市民によるボランティア的な活動であり、行政と協働での実施を原則としている。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 団体の個人会員や企業会員等が、自治会や学校等の関係機関と連携しながら、率先して自主的に環境ボランティア活動に取り組んでおり効率性は高い。 市内における環境保全活動の普及・啓発並びに地球温暖化防止活動の推進を行っている団体を支援することにより、リーディングプロジェクトごとの環境保全活動等が積極的に展開され、市民及び事業所の環境保全意識を高めるには効果的かつ効率的である。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 市内の様々な団体、事業者、学校と交流や連携をしながら活動を実施できている。 リーディングプロジェクトごとに活動を計画し、コロナ禍においてもオンライン等を取り入れながら環境保全活動を積極的に実施することで、環境保全に関する市民の意識向上につなげている。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> ■コロナ禍の影響により市民参加を募った活動が実施できなかったことでプロジェクト参加者数が減少したが、オンライン等を取り入れながら活動を継続した。 ■市民の環境保全意識をさらに高め、環境保全活動への新たな参加者を増やす取組が必要。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ■オンラインによる活動も継続して行えるよう設備や体制を整理し、リーディングプロジェクトごとに実施方法を考える。 ■環境保全にかかる取組を広く周知し、市民誰もが気軽にリーディングプロジェクトに参加できるよう工夫する。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	環境保全一般事業(エネルギー・環境戦略課)			事業コード	520136						
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生き、次世代についでいくまち		政策目標	3 自然と共生する地域空間の形成						
	施策名	1 豊かな自然環境の保全と活用		施策コード	231						
事業担当	所属	25080000 産業政策部 エネルギー・環境戦略課		所属長	谷口 智広						
会計情報	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	05 環境保全費	会計	01 一般会計	決算付属資料	152	頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	福知山市環境基本計画、地球温暖化対策実行計画		R4現在の状況	他事業へ統合		
根拠法令等	福知山市附属機関設置条例										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	地域貢献型エネルギー推進事業、環境基本計画推進事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	SDGsの理念に呼応し、環境・エネルギー分野において「環境・経済・社会」の好循環を踏まえた福知山の将来像を考え、その実現に向けた指針(基本計画等)に対し市民の意見を反映させる。										
対象者	全市民			対象者数	76,377		単位あたりコスト	0.0			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	有識者(大学教授、医師、商工関係機関、一般市民、環境に関わる専門機関ほか)										
事業概要 (箇条書き)	・本市における環境に係る施策について、環境審議会に諮問し、答申を受ける。また、専門家等の意見を市の政策や計画策定に反映させる。 ※令和4年度より、環境基本計画推進事業と統合										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容							
	報酬	152		環境審議会委員報酬							
	旅費	10		費用弁償(交通費)							

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	0	128	0			
	② 補正予算	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0			
小計(①～③)	0	128	0	予算編成時記入 (3次公表時)			
予算財源内訳	① 一般財源	0	128		0		
	② 国支出金	0	0		0		
	③ 府支出金	0	0		0		
	④ 地方債	0	0		0		
	⑤ その他特財	0	0		0		
決算情報	① 流充用額	0	34				
	② 配当予算	0	162				
	③ 執行額	0	162				
	④ 執行率	0.0%	100.0%				
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.00 / 0.00	0.23 / 0.00		0.00 / 0.00		
	② 概算人件費	0	1,840		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	2,002	0		0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	計画策定進捗率	件	/	/	100 / 100	/	100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	審議会開催	箇所	/	/	2 / 2	/	-
	単位あたりコスト		/	/	81.0	/	
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 環境に関する指針や計画の策定において、各専門的な知見からの意見・助言が必要であるなか、官公庁や大学を始め様々な分野の専門家により構成される本審議会を開催し、的確な意見や助言を得ることが出来た。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 専門家報酬のみとなっており、最低限必要な経費のみで運営できている。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 指針及び計画策定完了時期に対し、計画的に審議会を開催し、的確な意見及び助言を得ている。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	令和3年度においては、令和4年度末を目途に策定を進めている福知山市エネルギー・環境基本計画について、専門的な意見・助言を得ることが出来た。		
改善策	今後も、計画の策定スケジュールに合わせて遅延なく審議会を開催し、専門的な意見・助言をいただく予定にしている。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	都市計画費一般管理事業			事業コード	510201						
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生き、次世代についでいくまち		政策目標	3 自然と共生する地域空間の形成						
	施策名	1 豊かな自然環境の保全と活用		施策コード	231						
事業担当	所属	35050000 建設交通部 都市・交通課		所属長	芦田 裕人						
会計情報	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	01 都市計画総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	192	頁
計画期間	開始年度	昭和30年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中	
根拠法令等											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	本市の地域特性を活かし、まちづくりの基本的な課題の解決を図るため、将来を見据えた都市計画を定めて、秩序ある土地利用を促進するとともに、円滑な都市活動を支える都市施設の整備を推進し、都市計画マスタープランにまちの将来像として掲げる「安心して暮らせる、しなやかで強靱な都市」の実現をめざす。										
対象者	市民	対象者数	77,000	単位あたりコスト	0.8						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	アジア航測株式会社京都支店、石原自治会 ほか										
事業概要 (箇条書き)	・予算や決算及び議会関連に関する人件費 ・屋外広告物の許可、各種届出等に係る費用 ・区画整理に係る証明等の費用 ・委任工事設計、監督に係る人件費 ・都市計画審議会及び景観審議会開催に係る人件費 ・都市計画図の修正、印刷に係る費用 ・職員の事務作業及び能力向上に係る費用 など										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	委託料	3,049	都市計画図修正、自転車等駐車場清掃管理業務等								
	報酬	1,735	都市計画審議会委員報酬、臨時職員報酬								
	需用費	1,337	事務用品等の消耗品購入								
	役務費	368	郵送料等								
	負担金補助及び交付金ほか	666	都市計画協会等の負担金 ほか								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	3,225	8,669	7,382						
	② 補正予算	2,037	0	0						
	③ 繰越予算	330	0	0						
	前年度繰越	330	0	0						
	次年度繰越	0	0	0						
小計(①～③)	5,592	8,669	7,382	予算編成時記入 (3次公表時)						
予算財源内訳	① 一般財源	4,520	7,564		6,492					
	② 国支出金	0	0		0					
	③ 府支出金	98	79		62					
	④ 地方債	0	0		0					
	⑤ その他特財	974	1,026		828					
決算情報	① 流充用額	0	245							
	② 配当予算	5,592	8,914							
	③ 執行額	2,988	7,156							
	④ 執行率	53.4%	80.3%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	6.21 / 0.10	6.47 / 0.15		6.47 / 0.15	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	49,930	52,135		52,135	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	52,918	59,291	52,135		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	屋外広告物許可申請手数料	種類		土木手数料	実績金額	791	決算付属資料	14	頁
		土地利用規制対策交付金			土木費府補助金	139	28			
	都市計画図書	物品売払収入	78	34						

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	定性的評価		/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	研修参加回数	回	11 / 18	4 / 12	6 / 12	/ 13	
	単位あたりコスト		334.1	747.0	1192.7		
	都市計画審議会開催回数	回	0 / 3	1 / 3	2 / 2	/ 2	
単位あたりコスト		-	2988.0	3578.0			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 主に事務的経費に係る予算であり、恒常的に必要な経費である。 都市計画審議会の開催や関係法令の規定に基づく手続き等の適正な運用を図ることで、環境や地域資源を生かした魅力ある都市空間の形成を推進する。 	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画審議会の開催にあたり、委員のオンラインによる会議出席を可能とすることで、開催日の調整期間を短縮した。 関係機関等との会議は、ウェブ会議を積極的に活用し事務の効率化に努めた。 	<input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 事業の目的・目標を達成するため、職員の積極的な研修参加を推進し、専門性や能力の向上を図る。 関係法令の規定に基づく届出や許可等の手続き事務が適切な運用のもと着実に実施されることで計画的な土地利用が推進される。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画審議会等の経費や事務用消耗品が大半を占める本予算事業は、恒常的に欠かすことのできない事業であり、今後も継続的な運営が望まれる。 都市計画図の販売は、印刷物の作成に係る費用が高く、在庫を確保することが困難なため、一部の都市計画図について、プリントアウト可能なデータをホームページ公開し多様なニーズに対応することで印刷費を縮減した。 限られた予算や時間を有効に活用するため、リモートによる会議や研修を積極的に活用した。今後は、市民サービスの向上をめざし、各種手続きのオンライン申請等に対応する必要がある。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画図は、計画的な修正と合わせて、市民のニーズに対応した効果的な情報提供方法を確立するため、販売や在庫の確保・管理方法の見直しを含めた検討を進める。 関係法令の規定に基づく届出や許可申請等の手続きのオンライン化に積極的に対応する。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入 (3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--